

かい よう
海陽



6⁷⁹月号
公民館報
海陽町教育委員会
2019年6月1日発行



海南文化村祭の様子



新任のごあいさつ

地域に根ざした魅力ある博物館をめざして

海陽町立博物館館長 山下知之



本年四月から、海陽町立博物館館長に就任しました山下知之です。

私は、これまで歴史を教える教員として、地元の高部高校をはじめ県内の高等学校に勤めてきました。また、定年前の三年間は、徳島県文化の森（徳島市）の県立文書館で歴史資料の保存と活用の業務にも従事してきました。

た。この経験を生かしながら、また新しいことにも挑戦しながら、博物館の企画・運営に取り組んでいきたいと思っています。

海陽町立博物館は、平成一〇年四月に開館し、今年で二年目を迎えています。海部刀・大里古墳・大里古銭を展示する博物館として、県内外に知られ、現在、年間約三〇〇〇人の方が利用しています。館内では、海部刀をはじめとする地域の文化財を常設展示するとともに、年三回にわたり特定のテーマによる企画展を開催して、広く地域の歴史・文化を紹介しています。また、最近では町民ギャラリーを提供

して、地域文化の振興に努めています。

現在、博物館の様子は大きく変わろうとしています。これまでの博物館は、「展示された文化財などを単に「見る場」でありましたが、今は「体験（体感）する場」、そして「想像力を広げる場」へと変化しつつあります。言いかえれば、入館者をわくわくさせるような博物館がめざされています。

このような博物館をめぐる動きをとらえ、地域の人に親しまれ、魅力の感じられる博物館づくりに取り組んでいきたいと思っています。

皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



人権を大切に作る町づくり

舞鶴引揚げ記念館研修に参加して

社会教育指導員 大石修一

本年1月31日(木)海部郡人権教育協議会(美波町・牟岐町・海陽町で構成)で、京都府の舞鶴引揚げ記念館および赤レンガ博物館の視察研修を行いました。

記念館のHPから引揚事業について紹介します。太平洋戦争終戦時に約660万人もの日本人が、満州(現・中国東北部)、朝鮮半島、東南アジアや南太平洋の島々に取り残されました。その人たちの帰国が大きな課題となり、国の事業として、舞鶴をはじめ浦賀、呉、下関、博多、佐世保、鹿児島、横浜、仙崎、門司が引揚げ港として指定されました。舞鶴は、昭和20年10月7日に最初の引き揚げ船「雲仙丸」が入港した後、昭和25年以降は、国内唯一の引揚げ港となりました。昭和33年9月7日の最終船「白山丸」まで、13年間にわたり、約66万人の引き揚げ者と1万6269柱の遺骨を受け入れました。また、捕虜となりシベリアで抑留された多くの方々は、重労働や寒さ、飢えなど筆舌に尽くしがたい苦労の末、舞鶴に引揚げられました。歓迎や慰問、差し入れなど町ぐるみで温かく迎えた市民の姿

に、全国各地に帰って行った引き揚げ者から後々まで感謝の言葉が寄せられたそうです。

あちらこちらに残る雪を見ながら、舞鶴若狭道をバスは引揚げ記念館に向けて走りまわりました。舞鶴港を左に見ながら、お昼過ぎに到着しました。スタッフの皆さんは遠路やってきた私たちを温かく迎えて下さいました。特に山下館長は、記念館のあらましやシベリア抑留そして引揚げについて映像等を交えながら説明して下さいました。その中で、記念館の創立には徳島県人が大きく関わっていたことをお聞きし、驚くとともに誇らしく思いました。後半は、ボランティアの語り部の方が館内の展示についてご案内下さいました。語り部の方のぼくとつとした語り口が、展示品の一つ一つの戦争の重みそして平和の大切さとともに私たちの心に響いてきました。ほとんどの展示品がユネスコの世界記憶遺産に登録されているとのことですが、中でも白樺の樹皮の裏側に書かれた日誌やセメント袋で手作りされた手帳にびっしりと書き込まれた小さな文字は、抑留された人々の苦しみと家族

への切々とした思いが遺品全体から滲んできて、胸を詰まらせずにはいられません。また、舞鶴市長の「引揚げ復員兵を、手を振って温かく迎えよう、励まそう。」というビラは、当時の舞鶴市民の気持ちを感じられ、私たちの心を強く打ちました。

次の見学先である赤レンガ館も大変興味深い内容で、ユダヤ人へのホロコーストが行われたアウシュビッツのレンガや太平洋戦争時の魚雷の展示等があり戦争の悲惨さや平和の大切さを強く教えられました。

両館の見学後、「もう少し時間が欲しかったなあ。」「いい研修になったなあ。」「戦争のことが少しづつ忘れられている現在、シベリア抑留や引揚げの大変さや平和の意味を感じられて心に響く研修になったね。」と話しながら、次の旅程に向かいました。

今回の研修で、私たちは平和への願いだけでなく人間の生命力や人間愛そして家族愛などを学んだように思います。



白樺の樹皮に書かれた日誌を見る参加者

第14回

文化協会祭

令和になって初めてのゴールデンウィーク、今年は10連休でした。皆さん、外出されたり、家でゆっくり過ごされたりと、それぞれに楽しまれたことと思います。海南文化村でも、第14回海陽町文化協会祭展示の部（5月3日～5月6日）、併せて文化村祭も開催され、たくさんの方にご来場いただきました。

展示の部



絵画



つるし飾り



春のお茶席



押し花・パッチワーク



書道



水墨画



絵手紙



俳句・川柳



文化村祭



海部刀づくりワークショップ!



移動図書館



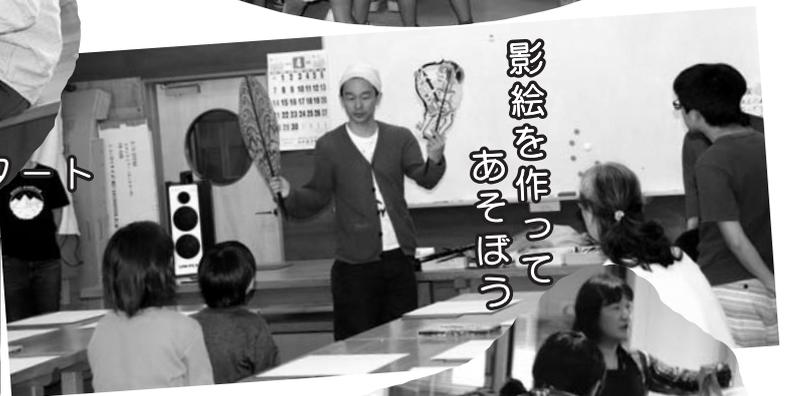
海部刀をつかってサムライになろう!



謎解き参加型ゲーム



ブックスタート



影絵を作って
あそぼう



チャレンジ! 防災



藍染め体験

海陽町お城めぐり

3月9日(土)心地よい春風の中、25名が参加しました。

吉田城…本城は鎌倉時代に設けられた海部郡司の居館跡と伝えられている。山城は2つあり、共に頂上付近に曲輪がある。

吉野城…山城とその麓の水田地帯に居館跡がある。16世紀初め頃穴喰祇園山城主下野守持共が穴喰から本拠を移した後、持定、之親、友光の4代にわたり栄えたと言われている。

海部城…16世紀後期、左近将監海部友光が築城するも、土佐の長宗我部元親の阿波攻めにより1575年落城した。蜂須賀統治下では阿波9城のひとつ。

※海部刀…鎌倉時代後期(14世紀前期)に海部氏吉がささみだに笹無谷で鍛刀を始めたと言われ、戦国時代には約70名の刀工が活躍。切れ味には定評があり、三好長慶の愛刀「岩切海部」が特に有名。現在、海陽博物館に約50振が、全国的には約400振が確認されている。



2020年 東京オリンピックに向けて 海陽町体協サーフィン部 大会結果 2019年2月～

来年度に迫った2020年オリンピックにむけていよいよカウントダウンにはいりました。

*オリンピック強化選手について

日本国内でのサーフィン組織、日本サーフィン連盟(NSA)では、オリンピックに向け世界の強豪と戦う日本代表を選出するため、日本プロサーフィン連盟(JPSA)とWorld Surf League Japanとの協議の上、75名の強化選手を選出しました。

わが海陽町体協サーフィン部からは、計8名が選出されています。(あいうえお順)



安室 丈さん



金沢 太規さん



金沢 呂偉さん



上山 キアヌ 久里朱さん



辻 裕次郎さん



西 慶司郎さん



西 優司さん



黒川 日菜子さん

選出の基準は主に2018年度のアマチュアやプロの試合でのランキング、又、世界戦、世界ジュニア代表に選ばれた選手などの基準を満たした者が選ばれています。選出された選手たちは来年度に向けて 定期的な強化合宿や様々なカリキュラムをこなし その中からオリンピック日本代表として選出される予定です。海陽町体協サーフィン部からオリンピック選手がでるかもしれません。海陽町体協サーフィン部これからも応援よろしくお願いたします！



秋友 澁くん 呉屋 太洋くん

*海部高校に波乗り留学生在が入学！！

毎日サーフィンができる環境を求めて、2人の男子が大阪の中学卒業を機会に海部高校に進学してきました。学業とサーフィンと両立できる海部高校を選んだ2人。海部寮の定員がいっぱいのため、現在(町外から来る高校生の支援を、民間でしている)あまべの家(笠原まり代表)に下宿中。休日や放課後、生見まで片道1時間の道のりを自転車で通っています。新天地で頑張る彼ら地域みんなで見守っていきたいと思います。

試合結果 <アマチュアの試合>

NSA 日本サーフィン連盟主催

* 白浜スプリングCUP

4月14日(日) 静岡県下田市 白浜ポイント

U18(ボーイズ&ジュニア)クラス 優勝 鳥潟 一太(穴喰中学3年)
2位 安室 弦(海部高校1年)

第14回小学生6人制バレーボール海陽大会

3月31日(日)

奥浦町民体育館及び穴喰小学校体育館において開催された「第14回小学生6人制バレーボール海陽大会」において、地元チーム「海南バンビーズ」がAゾーン（奥浦町民体育館）で優勝、「穴喰杉の子」がBゾーン（穴喰小学校体育館）で準優勝しました。



Aゾーンで優勝した「海南バンビーズ」のみなさん



Bゾーンで準優勝した「穴喰杉の子」のみなさん

Aゾーン 会場…奥浦町民体育館

優勝：海南バンビーズ
準優勝：桑野インパルス

		試合結果					
①	大松	2	-	0	加茂	茂	
②	海南	2	-	0	穴吹	吹	
③	小松島	2	-	0	加茂	茂	
④	宝田	2	-	0	穴吹	吹	
⑤	大松	2	-	0	小松島	島	
⑥	海南	2	-	0	宝田	田	
⑦	海南	2	-	0	大松	松	

①	生比奈	2	-	0	岩脇	A
②	桑野	2	-	1	三庄	庄
③	橘	2	-	0	岩脇	A
④	桑島	2	-	1	三庄	庄
⑤	橘	2	-	1	生比奈	奈
⑥	桑野	2	-	0	桑島	島
⑦	桑野	2	-	0	橘	橘

決勝	海南	2	-	1	桑野	野
----	----	---	---	---	----	---

Bゾーン 会場…穴喰小学校体育館

優勝：新開JVC
準優勝：穴喰杉の子

		試合結果					
①	鷺敷	2	-	0	新野	野	
②	中野島	2	-	0	日和佐	佐	
③	新開	2	-	0	鷺敷	敷	
④	椿	2	-	0	日和佐	佐	
⑤	新開	2	-	0	新野	野	
⑥	椿	2	-	1	中野島	島	
⑦	新開	2	-	0	椿	椿	

①	岩脇	B	2	-	1	喜来	来
②	相生	2	-	0	見能	林	
③	穴喰	2	-	0	喜来	来	
④	相生	2	-	0	見能	林	
⑤	穴喰	2	-	0	岩脇	B	
⑥	相生	2	-	0	羽ノ浦	浦	
⑦	穴喰	2	-	0	相生	生	

決勝	新開	2	-	0	穴喰	喰
----	----	---	---	---	----	---

平成30年度 第14回 四国中学校新人剣道大会(女子)

3月3日(日) 於：阿波中学校体育館



海陽中学校女子剣道(海部川剣道教室)の皆さん



予選リーグ B組 1位

海陽 2 - 2 桜町 (香川) 海陽 2 - 1 久万 (愛媛) 海陽 5 - 0 高岡 (高知)

決勝トーナメント
1回戦

海陽 0 - 4 徳島

海陽町体協杯前期バレーボール大会

4月14日(日) 於：海陽中学校体育館



優勝した突喰クラブの選手の皆さん

Aコート 試合結果				
①	K. club	2	-	0 牟岐体協
②	日和佐体協	2	-	1 海南ひまわり
③	桑野体協	2	-	0 牟岐体協
④	日和佐体協	2	-	0 K. club
⑤	桑野体協	2	-	0 海南ひまわり

Bコート 試合結果				
①	突喰クラブ	2	-	0 橘体協
②	WAK 2 那賀	2	-	0 海部フレンズ
③	突喰クラブ	2	-	0 WAK 2 那賀
④	橘体協	2	-	0 海部フレンズ

決勝 突喰クラブ 2 - 1 桑野体協

穴喰俳句 四月例会より

春昼の校長室の時計かな	間戸谷恵子
花冷えの水田に残す耕運機	寺崎照代
たつぷりと夕日をあびて豆の花	元木朱子
壇上の松をみてをり卒業式	外山千佳
遠野火のさらに遠くへ子は帰り	新井久実
花びらの欠片のような蝶に遇う	山本球子
出雲路や朝餉夕餉の蜆汁	川野佳代
一人居の甘きひと皿よき日永	樽井みつ子
今年より一人墓参の春彼岸	陸田ヨネ子
春の夜は昔の話したくなる	梅田千恵子
枝垂桜下におかれてオートバイ	長岡達江
うたた寝の犬と釣師やうらかに	新井駿也
手際よく昭和一けた目刺し焼き	元木栄子
居眠りの癖つきはじめ老いうらら	朝賀ます美

海南俳句

水切りを競ふ子の声風光る	谷口洋根子
酒に酔い花にも酔うて良き日かな	新居利之
沈丁の香りに止まる万歩計	佐野政一
天城越えわさび畑の水の音	廣瀬克子
弔うて塩振るならひ桃咲けり	田中たち子
畑打ちの鍬のリズムに目覚めけり	平道はつ子
花咲いて通勤電車混んでおり	谷律子
春の雨はなしの尽きぬまま暮れて	津川須美江
亡き人の夢に顕 <small>た</small> ち来る春彼岸	川原沃子
春浅し癌と闘ひ十二年	岳山祐弘
春の夢花を訪ねる蝶になる	吉田保則
春彼岸山田に水の満てる音	森口豊子
雛仕舞うことも無きまま曆繰る	山本達平
来てみれば先に蔵を刈られをり	鍛冶崎郁夫
初めて聞くオーボエの調べ春の午後	叶岡陽二
ソプラノの乾杯の歌春めきて	橋本幸子

海部ひまわり俳句

飲みかけのコーヒーそのまま春の風	津田 一
舫い綱たるむ埠頭や春の海	西本 公明
この心解き放たれて春の雲	榊原 礼子
ふらここや傾ぎて長き影ゆらす	南 歌子
燃え尽きて深山散り敷くつつじかな	松田 嘉子
まるごと昭和生き平成生きて令和かな	元木 美枝子
平成も残り少なくはだ寒し	佐藤 美代子
菜の花のかがやいている昼さがり	穴戸 道子
春光のあふれていたる花畑	岡 育代
住み慣れたこの町が好きさつき花	川野 照美
心配は徐々にうすまる新生活	村田 恵巳
春の乱強政策の北朝鮮	穴戸 保夫
春霞晴れていざ行け初出勤	村田 恵里佳

海部短歌会

一生一度の米寿祝い手の子、孫は多忙妻と猫らで	池田 孝司
傘寿すぎ那佐で九人の食事会夫の在るはあらわれひとり	北村 千代子
令和なる明るい響きにときめきてそれぞれの夢成せる時代へ	栢岡 節子
光ある幸せな年願ひつつこの世見守る招福の猫	風呂谷 幸子
柿若葉春が来たきた田植来た広き水田は青田となりゆく	溝内 和恵
姿見ぬ気になる人の近況を知りえた日には桜咲き初む	小笹 仁子

網代川柳四月句会より

新しい風に会いたい曲がり角	風呂谷 幸子
雑音も胸に収めて波しずか	石垣 小道
収入を越した暮らして四苦八苦	太田 一洋
収穫もあてにはならぬ種をまく	福岡 純山
内定に先ず安心なビール抜く	黒岩 一平
回り道してでも捜す夢がある	井上 可楽

トピック

「氏吉とおんば（民話）」



刀工・海部氏吉には娘がおり、その娘をむすこの嫁に欲しい
山姥やまんばが「一晩で1000本刀を作ったら娘を貰う」と約束をした。
しかし、氏吉の機転により、竹筒のとまり木の中に湯を通して
ニワトリを早く鳴かせたところ、山姥は夜が明けたと勘違いを
して、あと1本のところで約束を果たせなかった、というもの
です。

おんばのすみかである「おんばがたき」と呼ばれる場所が
笹無谷ささみだに（現 海陽町相川地区）にあります。たどり着くまでに
険しく、奥地にあります。

6⁷⁹
月号

公民館報

海陽町教育委員会
2019年6月1日発行